

皆様に知ってもらいたい寄附金の使い道

地域の医療を支える公立病院

市立旭川病院では、地域の200以上の診療所との協力体制を構築するとともに、民間病院では実施が難しい不採算医療を担っているほか、小児一次救急や市内の病院とともに24時間体制で受け入れる二次救急を実施するなど、旭川市民をはじめ広く北海道民の医療を支えています。

死因のうち最も高い割合を占めるがん・心疾患で苦しむ患者様のために

全国、そして旭川市においても、死因のうち最も高い割合を占めるのが、「がん」そして「心疾患」です。医療技術が進歩した現代においても、この病気で亡くられる方は依然として多い状況にあります。

市立旭川病院は、治療に伴う身体的負担が比較的少ない内科的治療と緊急手術や大規模な心臓手術にも対応可能な診療科を有している地域でも数少ない病院であり、また、北海道内でも有数の「地域がん診療連携拠点病院」として国の指定を受けていることから、心疾患やがんを抱えている方に、安心して医療を提供することができる体制を整えています。

質の高い医療を支えるのは、進歩する高度医療機器

がんは、一般的に早期発見が大切であり、その診断にはCTやMRIなどの画像診断装置が、また、治療においては精密で安全性の高い放射線治療等を行うことのできる高度な医療機器が必要となります。

心疾患についても、手術よりも負担の少ない治療を行うために、心臓や血管の状況を鮮明に画像に映し出す装置が非常に重要となっています。

このように、人命を救うため、進歩する高度医療機器が大きな役割を果たしています。

地域でがん・心疾患で苦しむ方を救いたい

市立旭川病院は、地域の医療を支える役割を果たす公立病院として、がん・心疾患で苦しむ方々に質の高い医療を提供し続けていく必要があります。そのためには、高度医療機器の整備は不可欠となります。がん・心疾患で苦しむ方々を救うため、ふるさと納税によるご支援をお願いします。

寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、新たな高度医療機器の整備に活用させていただきます。

お問合せ先

市立旭川病院経営管理課 電話 0166-24-3181